

平成26年9月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>佐々木大三郎議員 (一問一答)</p>	<p>1 人口減少対策について (1) 「日本創生会議」が発表した若年女性の減少による将来的な自治体消滅の見通しに対する所見は。 (2) 若者が地域から流出した理由や原因を把握して、人口減少対策に活かさなければならないと考えるが。 (3) 企業誘致担当者として非常勤職員を速やかに配置すべきと考えるが。 (4) 中心市街地に IT 企業を増やし、IT タウン構想を描いてはどうか。 (5) 当市の資源や地域特性の優位性を人口増加につなげるべきと考えるが。</p> <p>2 林業振興策について (1) 自伐型林業に対する考えは。 (2) 林業の六次産業化推進に対する考えは。 (3) 森林整備により都会からの観光客や定住者を呼び込んで。 (4) 林業大学のその後の検討状況は。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>佐々木 議 議員 (一問一答)</p>	<p>1 新庁舎建設について (1) 敷地確保の進捗状況は。 (2) 「とぴあ」すなわち中心市街地活性化センターを市役所庁舎として使用していることに伴う入居負担金は年額いかほどになるのか。また、このセンターの経理状況はどのようになっているのか。 (3) 新庁舎に入る部署はどの部署を予定しているか。現在分散して設置されている部署は、それなりに効果を上げていると理解するが。 (4) 旧庁舎の跡地の利活用はどう考えているか。東館を解体して、議場を建設する考えはないか。</p>	<p>市 長</p>
<p>小松 大成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 米価暴落について 今年度早場米の消費地では昨年度の価格を大幅に下回る米価暴落の状況である。このまま米価が下落する事は、当市の稲作農家のみならず農業経営全体に及ぼす影響は甚大である。主食である米の需給と価格の安定をはかることは政府の重要な役割である。 米の過剰基調が明確になってきている今、政府の責任で需給の調整を行うのは当然であるが、政府は市場原理としてその責任を果たそうとしていない。備蓄米の買い入れをはじめとして、緊急に過剰米処理を政府の責任で行うことを遠野市として提言すべきである。</p> <p>2 政府の「農業改革」について 農業委員会や農協の事実上の解体を目論む「農協改革」「農業委員会改革」など政府の「農業改革」が農業関係者をはじめとして大きな衝撃を与えている。 市長の見解を伺う。</p> <p>3 公契約条例制定について 地方自治体が発注する公共工事や業務委託で働く労働者の賃金、労働条件の最低基準を設ける公契約条例が各地で広がっている。公共工事などで働く労働者がワーキングプアなどといったことはあってはならないことである。遠野市も公契約条例を制定すべきであると思うがその考えはないか。</p> <p>4 農耕馬飼養農家への支援策について 農道を歩き回る馬の姿は遠野市の景観と相まって、心に安らぎを与えてくれる。しかし、農耕馬の飼養の農家の激減は、馬事振興を掲げる遠野として由々しき事態である。農耕馬導入に関わる経費助成をはじめとした支援策を講じるべきと思うがその見解は。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

<p>浅沼 幸雄 議員 (一問一答)</p>	<p>1 遠野馬の里の現状について 平成 23 年 10 月に遠野市畜産振興公社の競走馬部門が完全民営化され、それから 3 年経過したが、これまでの 3 年間の状況と現状について伺う。</p> <p>2 市内の第三セクターの現状と今後について 平成 23 年 2 月に策定した「遠野スタイル自立連携行動プラン」の進展状況と今後の展開について伺う。</p> <p>3 公共施設の再生について 公共施設の現状把握と進捗状況とそれを踏まえた出口戦略としての再生計画策定のスケジュールについて伺う。</p>	<p>市 長 市 長 市 長</p>
<p>瀧本 孝一 議員 (一括質問)</p>	<p>1 高齢社会・人口減少時代における、地域づくり・まちづくりについて (1) 確実に進む、少子・高齢社会、人口減少時代において、今後どのような地域づくり、まちづくりを目指そうとするのか。 (2) 中心市街地部から離れた周辺山間地の活性化や「地域力の保持」をどのように図っていくのか。 (3) 「癒し、癒される田舎・遠野郷」づくりを目指し、アピールしていく考えはないか。</p> <p>2 市内観光地の処遇格差と振興について 合併後、旧宮守村の観光地の情報発信や処遇に温度差があると感じられるところもある。どのような認識を持ち、今後、どのような施策を講じて振興を図っていくのか。</p>	<p>市 長 市 長</p>
<p>石橋 達八 議員 (一括質問)</p>	<p>1 今後の遠野市政について (1) 若者が定着できる遠野市をどうつくるか。 (2) 伝統文化の保護・伝承の仕組みづくりが必要ないか。 (3) 更なる観光等による交流人口、地域資源の活用で地域の活性化について (4) 今後のまちづくりについて (5) 自治体間の連携促進による新たな取組について (6) 国政との連携を密にすることができないか。 (7) スマートプラチナ社会の実現について</p> <p>2 遠野教育の今後について (1) 英語教育の今後の取組は。 (2) 全国学力テスト公表の方針とその理由は。 (3) 教員の情報通信教育の指導力を高める支援策は。 (4) 「がん教育」「認知症」の理解学習に対する方針は。 (5) 子どもの貧困と教育格差をなくすための支援策があるのか。</p>	<p>市 長 教育長</p>
<p>多田 勉 議員 (一括質問)</p>	<p>1 遠野市の特色ある農業の振興について (1) 遠野市における担い手への農地集積の現状と今後の集積目標の推進計画は。 (2) 農地中間管理事業に伴う本市における特色ある農業振興の具体的な内容は。</p>	<p>農業委員会 会長</p>
<p>多田 誠一 議員 (一問一答)</p>	<p>1 農家の将来と内閣府の調査結果について (1) 農家は将来について不信感を抱いていることについて (2) 農産物価格の低下により農家の生活が低下していることについて</p> <p>2 農地中間管理事業への取組について (1) 農家の理解をどう進めていくのか。 (2) 認定農業者、法人組合の集積について (3) 米価の下落と認定農業者等の営農対策について (4) 人口減少社会の中で一次産業の振興について</p> <p>3 放牧場の再開と利活用について (1) 畜産農家の減少と飼養管理の見込みについて (2) 放牧場の再編について (3) 遠野ソーラーパーク事業について</p>	<p>市 長 市 長 市 長</p>

